



## 小笠原で暮らすイルカたち

### 「母島での再会」

9月13日、母島でイルカ調査を実施しました。朝、母島沖港を出港し、時計回りにグルリと一周、昼に沖港へと戻ってくるコースです。母島東部の大崩湾に差し掛かったところで、ゆっくりと泳ぐミナミハンドウイルカ4頭に遭遇しました。

イルカを個体識別するためには、体や背ビレや尾ビレの傷や欠損などが重要な手がかりとなります。今回確認した4頭のうち、1頭の尾ビレに、特に目立つ欠損があり(写真)、調査後に当協会のデータベースで調べたところ、ちょうど2年前にも母島で確認された個体(＃205)であることが分かりました。お腹に斑模様が確認されなかったことから、まだ若い個体です。この個体は、これまで母島でしか確認されていません。これからも母島周辺に留まり続けるのでしょうか。それとも、いつの日か他の場所で確認されるようになるのでしょうか。



#205の尾ビレ

### 「イルカ調査2008」

一年を振り返るには少し気が早いかもしれませんが、今年のイルカ調査の概要をご報告します。

調査は11月までに、ほぼ週1回のペースで46回おこない、52群のべ304頭のミナミハンドウイルカに遭遇しました。調査海域は父島列島周辺が中心でしたが、母島や聳島でも調査をおこないました。照合作業の結果、83頭のイルカを識別、そのうち19頭は今年になってはじめて識別された個体でした。これまでに小笠原海域で個体識別されたミナミハンドウイルカは全部で203頭になります。

海域間の移動具合や、親子関係など興味深いデータが少しずつではありますが蓄積されています。ミナミハンドウイルカの生態解明と、イルカと人のよりよい関係を探るための資料としてこれらのデータを役立てていきます。

来年はどんなイルカ達に  
会えるのか、楽しみです。  
イルカ調査隊は、来年も  
引き続きイルカを調査します！



もりっち博士

## ミナミハンドウイルカのIDカードをご存知ですか？

イルカのツアーに出かけるとき船やショップで見かけたら・・・

いろんな傷のある尾ビレや背ビレの紹介、わかやすい特徴のあるイルカ達の紹介がのっています。どんなイルカがいるのかな？ さっき見たイルカの写実はあるかな？ などIDカードを、活用してみてくださいね！

